

- 1 旅団武装走競技会
- 2 第35回定期演奏会
- 3 旅団レンジャー教育開始
- 4 美幌・鹿追創立記念行事



旅団長のピストルの音とともに競技が開始された

第五旅団(旅団長 寺崎陸将補)は、平成十九年五月二十三日(水)～二十四日(木)の間、帯広駐屯地訓練場において、基礎体力の向上を図るとともに、団結の強化及び士気の高揚を図る事を目的に武装走競技会を実施した。
二十三日は統裁部要員一三四名が、二十四日は各部隊一六九一名が激走した。

旅団武装走競技会



ゴールまであと1歩!

競技会当日は初夏を思わせる気温の中行われ、選手たちは厳しい暑さにも負けず日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮し、個人と部隊の名誉をかけて全隊員がベストを尽くした。
また競技会を協力団体関係者に公開し、約六〇名が見学をした。選手たちが最後まで力を振り絞ってゴールする姿には大歓声と盛大な拍手が贈られ、見学者たちは、「自衛隊員が汗を流し一生懸命に走っている姿にとっても感動した。」と口々に語っていた。
閉会式において旅団長は、「より一層の基礎体力の向上、そして健康状態の改善を目標として各部隊は引き続き努力してもらいたい。」と述べ、本競技会は一件の事故もなく終了し、所期の目的を十分に達成した。成績については以下のとおり。

・部隊対抗の部

Aグループ(隷下に中隊を保有する部隊)

優勝 第4普通科連隊

Bグループ(隷下に中隊を保有しない部隊)

優勝 第5対舟艇対戦車中隊

・中隊対抗の部

優勝 第4普通科連隊第3中隊

・個人走

10・20代の部

優勝 3曹 森谷 一成(第27普通科連隊第3中隊)

30代の部

優勝 2尉 高数後 靖浩(第4普通科連隊本部)

40代の部

優勝 3尉 平岡 幸彦(第5戦車隊2中隊)

50代の部

優勝 曹長 濱田 力範(第5後方支援隊第2整備中隊)

女性自衛官の部

優勝 1士 三浦 千恵(第5特科隊第2中隊)



女性隊員も大活躍!



第35回定期演奏会



～今年も大盛況！約1300人の観客を魅了！～

第5旅団(旅団長 寺崎陸将補)は、平成19年6月9日(土)帯広市民文化ホールにおいて第5音楽隊(隊長 松田2尉)による第35回定期演奏会を開催した。

演奏会は2部構成で行われ、第1部は吹奏楽のオリジナル作品を中心にした構成で、オープニングは「リバティーファンファーレ」で華やかに開幕した。また第1部の目玉であるトロンボーン独奏曲「カラーズ」では加地 貴博陸士長のトロンボーンの優雅な音色と卓越したスライドさばきに会場内は酔いしれた。第2部は軽音楽を中心に映画「パイレーツ・オブ・カリビアン」のテーマ曲や隊員の歌も交えた「千の風になって」等を演奏し、ラストは北海道を代表する民謡「ソーラン節」を16ビートのリズムに乗せた「ソーラン・ファンク」で締めくり、会場内は一気にヒートアップし最高潮の盛り上がりを見せた。会場内からは惜しめない拍手とともにアンコールの拍手が響きわたり、待望のアンコールでは「ユー・レイズ・ミー・アップ」と「ラデツキー行進曲」を演奏し会場に訪れた約1300人の聴衆が1つになり、演奏会は今年も大盛況のうちに幕を閉じた。



優雅なトロンボーンの音色で会場を魅了した
加地士長



第2部では清潔感溢れるすがすがしい夏演奏服に着替えて演奏



最高潮の盛り上がりを見せた「ソーラン・ファンク」

旅団レンジャー養成集合教育始動！

第5旅団(旅団長 寺崎陸将補)は、平成19年5月21日(月)より第27普通科連隊(連隊長 坂本1佐)担任による平成19年度第3期旅団レンジャー養成集合教育を開始した。

教育開始にあたり旅団レンジャー訓練隊旗が手渡され、引き続き担任官から学生長へ授与された。

旅団長は「レンジャー教育は決してやさしい事ではない。これから始まる訓練をしっかりとやり遂げて最後にレンジャーバッジを胸につけて28名の隊員が立派なレンジャー隊員となって卒業する事を期待する。」と要望した。この教育は、陸上自衛隊の教育訓練の中でも最も過酷な訓練であり、約3ヶ月にわたりレンジャー隊員として必要な技術はもとより、いかなる状況においても任務を遂行出来る強靱な体力・気力そして不撓不屈の精神が養われる。



担任官より学生長へレンジャー隊旗が手渡される



水路潜入訓練

選挙情報No2

大変!! 大切な貴方の1票が0.7票になってしまう?

皆さん、選挙の開票結果に小数点が付いているのを見たことがありますか。なぜこういった現象が起こるのでしょうか。

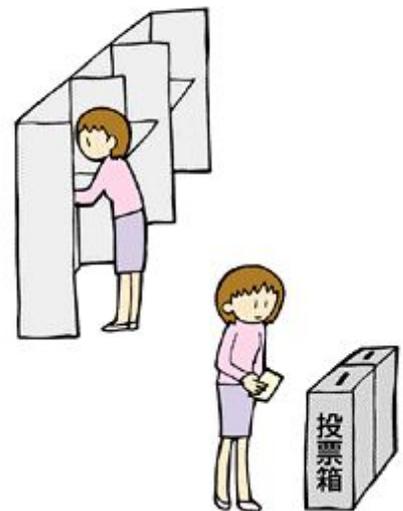
それは、投票用紙への記入要領が不適切だったからです。

<例>

候補者名	得票数
旅団 三郎	5,000票
陸自 三郎	2,000票

※この時
「三郎」とだけ書かれた票が1,000票ありました。
この票は5000票：2000票つまり5：2に按分されて
しまうのです。(少数第4位を4捨5入)

候補者名	按分後の得票数
旅団 三郎	5,000票+714.286票=5714.286票
陸自 三郎	2,000票+285.714票=2285.714票



同じ名前の候補者が多くなるほど貴方の1票は目減りしてしまいます。大切な1票を無駄にしないように正しく氏名を記入しましょう。

美幌駐屯地・鹿追駐屯地

創立記念行事

平成19年6月3日(日)美幌駐屯地の創立56周年記念行事が行われ、約4000人の観客が訪れた。記念式典は隊区内から来賓約400人の参加を頂き、駐屯地司令 竹下1佐が「自衛隊に対する国内外の期待はますます高まっている。我々第1線部隊や駐屯地のなすべき事はいかなる任務も遂行出来る精強な部隊や駐屯地となる事である。」と式辞を述べた。

また、9日(土)には鹿追駐屯地でも創立50周年記念行事が行われ、それに先立ち8日(金)は、50周年を記念して町内を96式装輪装甲車、89式偵察警戒車、小型、オートバイでパレードを行い、町民から盛大な歓迎を受けた。夜には隊友会主催の隊員慰労会が町民ホールにおいて行われ、各種催し物に隊員たちは楽しんでた。9日(土)の記念日当日は約1000名の観客が訪れ、観閲行進や訓練展示を楽しんだ。駐屯地司令 岩名1佐は、式典において「国内外の情勢が変化中、求められる能力を着実に発揮しよう技能を磨く事を誓う。」と式辞を述べ、行事は50周年の節目にふさわしく大盛況のうち終了した。



迫力の公開訓練(美幌駐屯地)



50周年を記念して行われた市中パレード(鹿追駐屯地)

